

### ご来園の皆様の感染防止のために

- ◆ ご来園前に、検温等を行ってください。
- ◆ ご入園の際は、体温確認させていただきます。
- ◆ 園内では、マスク等を着用し、人との距離の確保をお願いします。
- ◆ 未来くん広場(遊具・きのこ文庫)を閉鎖、観覧温室内の昼夜逆転室を閉室しています。
- ◆ 水琴窟の使用を禁止しています。

ご理解ご協力いただきますようよろしくお願いします。



### アートボトル講習会(7) 募集中!!

10/8(木) 経験者の部 10:00~12:00  
初心者の部 13:30~15:30

- ★山野草アートボトル同好会が作り方を指導 ★定員:各10名
- ★参加費:3,000円(別途、入園料が必要)
- ★事前申込:往復ハガキに講習会名、受講希望の回・部、住所、氏名、電話番号を明記 ★切:10/6(火) ★会場:植物園会館2階多目的室

### 第5回 インテリア・プランツ展 (販売あり)

- 期間:10月9日(金)~10月13日(火)
- 場所:観覧温室特別展示室
- 内容:室内で楽しめる多肉植物、観葉植物等を展示

### 【インテリア・プランツの寄せ植え講習会】

10月10日(土)、11日(日)  
1回目:10:30~、2回目:13:30~

- 定員:各回先着10名
- 申込方法:往復ハガキに講習会名、受講希望の日・時間、住所、氏名、電話番号を明記

- ★参加費:1,000円(別途入園料、温室入室料が必要)
- ★切:10/2(金) ★会場:観覧温室特別展示室

### 第53回 秋のバラ展

- 期間:10月16日(金)~10月18日(日)
- 場所:植物会館1階展示室
- 内容:バラの切り花約800本を展示

#### ◆10/18(日) バラ展関連講習会

植物園会館2階研修室 13:30~15:00  
(当日会場受付 13:00~)  
内容:バラの栽培について

### 「園長と園内散歩」

10月25日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!

植物園会館前集合:午後2時スタート!

### スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

### 東洋蘭講演相談会

- 日時:10月18日(日) 13:30~15:00 (受付13:00~)
- 場所:植物園会館2階多目的室
- 内容:寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会
- 講師:東洋蘭洛風会会員

### 第54回 菊花展

- 期間:10月20日(火)~11月15日(日)
- 場所:大芝生地特設展示場
- 内容:大菊、小菊(懸崖作り、盆栽作り)等、約300鉢を展示(販売あり)

### 第3回 秋の洋ランと着生植物展

- 期間:10月22日(木)~10月26日(月)
- 場所:観覧温室特別展示室
- 内容:秋に咲く洋ラン約200鉢とシダ類等の着生植物を展示(販売あり)

### 「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合:午後1時スタート!



### 「植物園ガイド」が植物案内!

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

\* 申込先:京都府立植物園 TEL 075-701-0141

### 植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時
- 電話075-701-0141で



### ※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
- 大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
- ※温室観覧料は別途必要となります。

### 植物園HP!



今週の「探して！」  
2020. 10. 2  
21号

⑫ **ファレノプシス・ギガンテア**

ラン科。インドネシアのボルネオ島固有種。贈答に利用されるコチョウランと同じ仲間。属名のファレノプシスは「ガのような」という意味で、本属の花の外観に由来する。その株姿から「Elephant Ears Orchid」(象耳ラン)とも呼ばれている。

⑪ **フジバカマ**

キク科。関東以西から九州などに分布。秋の七草として知られる。アサギマダラなどのチョウをはじめ、多くの訪花昆虫が花の周囲を優雅に舞う。かつて京都府内では絶滅したと考えられていたが約20年前に西京区大原野で発見された。

⑩ **オヒルギ**

ヒルギ科。奄美大島以南の琉球列島から東南アジアなどに分布。マングローブ林の代表的樹種の1つ。花後、胚は木に付いたままで発芽し、長さ15~20cmの根を出す。種子ではなく、苗で繁殖するので、胎生の植物の1つとしても有名。

⑨ **トウワタ**

キョウチクトウ科。野生種は南アメリカが原産。花後にできる果実が熟して弾けると、中からフワフワした綿毛の付いた種が出て来ることから「トウワタ(唐綿)」の和名が付いた。寒さに弱いため、日本では一年草として扱われる。

① **ツリフネソウ**

ツリフネソウ科。北海道から九州、朝鮮半島などに分布。「釣船草」と書き、花の形が帆掛け船をつり下げたように見えることから名が付いた。学名のImpatiensは「我慢できない」という意味があり、果実に触れる種子が飛び散ることに由来。

② **トウガラシ(観賞用)**

ナス科。野生種は中央・南アメリカに分布。日本でよく食用や観賞用に用いられるのはアンヌーム種で、数多くの雑種や園芸品種が生まれており、果実の姿形は球状、円錐状など様々。全米審査会(AAS)での優良品種を展示している。

③ **ヒガンバナ**

ヒガンバナ科。原産は中国大陸で、日本へは稲作の伝来とともに伝わった。通常花茎の上に6個の花が放射状に付き、それぞれの花弁数は6、雄しべの数も6で、それらすべてが一つのまとまりとなった形状である。よく観察すると面白い。

④ **パンパスグラス**

イネ科。南アメリカやニュージーランドなどに分布。アルゼンチン中部に広がる大草原「パンパ」で多く見られることからこの名が付いた。洋風の庭に植え込むほか、切り花などとしても利用される。和名では「シログネヨシ」とも呼ばれる。

⑤ **シュウメイギク**

キンボウゲ科。中国、台湾などが原産。現在では野生種やそれらを交配して作られた品種をまとめてシュウメイギクという。そのうち、八重咲きで赤花のものが京都市北部の貴船地域で多く見られることで、「キブネギク」とも呼ばれている。

⑥ **バクチノキ**

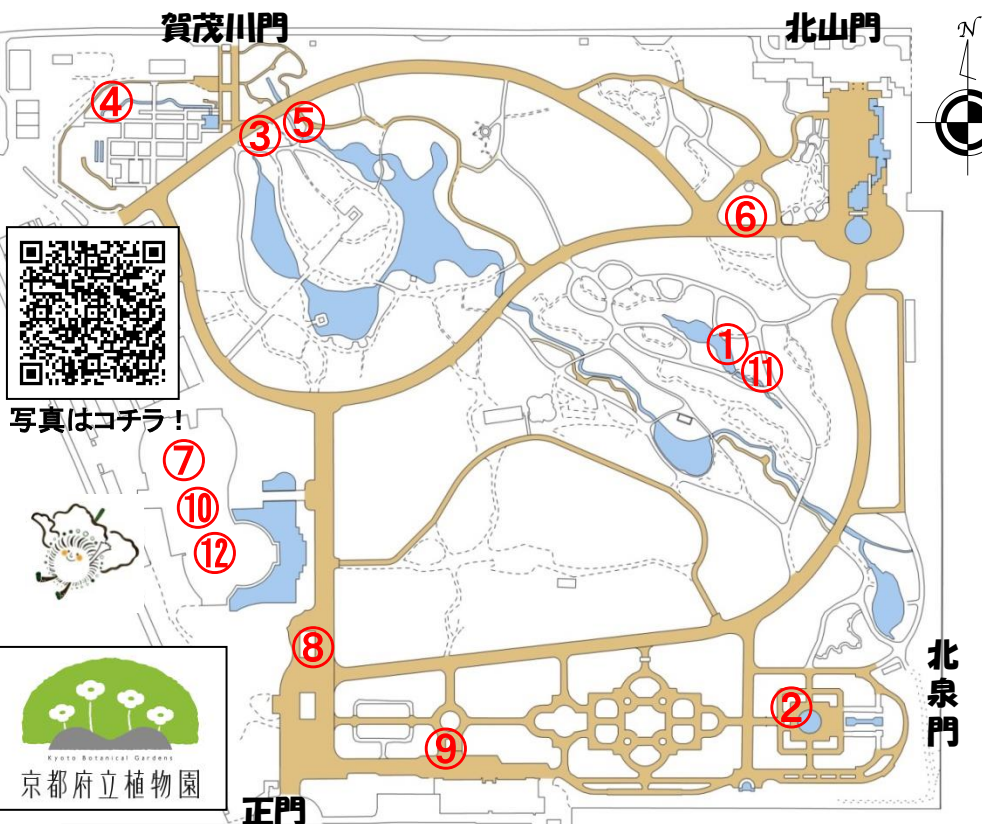
バラ科。関東以西の本州、四国、九州、沖縄の暖地に分布。樹皮は灰白色で、絶えず古い樹皮が長さ数10cm程度のうろこ状に剥がれ落ち、黄赤色の幹肌を現す。これを博打(ばくち)に負けて衣を剥がれるのに例えたことが名前の由来。

⑧ **パパイア**

パパイア科。熱帯および亜熱帯地域原産。沖縄などでは果物としてよりもむしろ野菜として利用されている。冬の寒さで枯れてしまうため、当園では、秋に種まきを行い、冬はガラス温室で越冬させ、4月下旬以降に花壇に定植している。

⑦ **ヘリコニア・ロストラタ**

オウムバナ科。南米ペルーと米国ハワイに分布。ロストラタは「くちばし状」の意味。色鮮やかな部分は苞で、花粉を運んでもらうためにハチドリをひきつける色や形に進化した。目立たない黄色の花は苞の中に多数あり順番に開花する。



写真はコチラ!



京都府立植物園